

MVN Studio 4.1.2 リリースノート

<https://www.xsens.com/download/MVN/mvnstudio412/MVN-Studio-4.1.2-Release-Notes.pdf>

新バージョン	■MVN Studio 4.1.2 - Beta(Link/Awinda共通) ■Awindaシステム：AW-A FW 3.0.2, AW-DNG FW 3.0.2, MTw FW 3.0.2 ■Linkシステム：BP FW 1.0.0, MTx FW 1.0.1
旧バージョン	MVN Studio 4.1 (2015年2月)
リリース日	2015/4/14
アイコンの意味	[+]追加機能、[^]変更機能、[!]注意点、[#]改良点、[-]削除機能

1. イントロダクション

今回のバージョンアップはベータ版のリリースとなり、タイムコードプラグインの大幅なアップデートとなります。LTCタイムコードはMVN Studioを実行しているシステムのほとんどすべてのサウンドカードで、受信・復号することが可能です。

2. 主な改良点と新機能

- + 標準的なサウンドカードによるLTCタイムコードのサポート
- + リアルタイムストリーミングプロトコル(サンプルコード、Matlab Examplesを含む)を含んだ新しいインストーラ(開発者向けツールキット含む)
- + ライセンス認証プロセスの改善

3. バグフィックス

MVN Studio BIOMECHの機能において、リアルタイムグラフ機能でセンサーデータが正しいセンサーに対応していないバグを改善

4. マイナーアップデート

認識されているシステムにSyncステーションがリスト表示されない

ストアされた磁気バイアスによる予期せぬMocap動作への悪影響

5. 確認されている問題点

! スタートセッションで設定を変更された場合、"Tick"アイコンをダブルクリックしても直ちに変更が適用されない

— 回避策：一度"OFF"をクリック、その後"ON"にすることで変更が適用されます

! Zigbeeの通信トラフィックが集中している場合、割り振られたチャンネルを選択することができません

— 回避策：続行する無線チャンネルを変更してください。チャンネル設定の変更方法はユーザーマニュアル：18.10.3をご参照ください

! MVNリファレンスカメラをジャンボフレームで使用されている場合、ネットワークストリーミング機能を使用中に問題が発生する可能性があります

! ボディパックよりも先にアクセスポイントをWPSモードに設定した場合、WPS通信が時々失敗することがあります。

! MVN Studio BIOMECHとSiemens Tecnomatixとのタイミングの問題：Siemensサイドでキャラクターデータが落ち、再度表示される場合、一度"Stop Server"をクリックしその後"Start Server"をクリックしていただくことで、再度データが表示されます